

おたぎなみ

本庄小学校 学校だより 第13号 令和8年2月24日 文責 西村



校庭の雪もすっかりとけ、暖かい日には、子どもたちが楽しそうに走り回る声が響いています。

子どもたちは、今年度のまとめに向けて、学習や行事に落ち着いて取り組んでいます。

振り返れば、この一年で見違えるほど成長した姿があちらこちらに見られ、日々の努力の積み重ねの大きさを改めて感じています。

本庄フェスタ～学びを形に～

先日の本庄フェスタでは、日程変更によりご都合のつかなかった方もおられたこと、誠に申し訳なく思っております。

そのような中ではありましたが、子どもたちは、一生懸命に学んだことや考えたことを、堂々と発表していました。

参観にお越しくださった皆様、また当日の朝に「がんばってね」と声をかけて励ましてくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。



以下地域の方、保護者の方の感想を載せます。

この1年でたくさんの方ができるようになったことが、見て、聞けてよかったです。成長しているんだなど感じました。とてもよい発表でした。(1年生)

「まちたんけん」でいったお店がどんなお店なのかこだわりなどがわかりやすくまとめられていて上手な発表でした。(2年生)

3年生になり、紙を見ずに発表している子や情報を的確にまとめ、上手にタブレットの写真とともに発表できている子たちの姿を見ると、本当に成長を感じます。

4年生は、動画やグラフ、クイズなどを使い見る人の興味を引きつつわかりやすく伝えようとする工夫があつてよかったです。

5年生、昨年の発表とは比べものにならないくらい、調べた内容や発表する時の文章がしっかりしていてすごく成長を感じました。とても濃い内容で聞いていて勉強になりました。

6年生の発表では、きっと調べていて原爆の怖さ、被爆者の写真から目をそむけたくないようなものもしっかりと向き合い、自分たちの感じたことも上手にまとめられていたと思います。さすが、6年生と思いました。

どの学年のみなさんも学んで考えて感じたことを自分の言葉でしっかりと聞いている人たちに伝えようとしておられたことがとても心に残りました。見に来て本当によかったです。ありがとう。



この地域だからこそできる冬のたのしみ発見!!

雪遊び&スキー教室

今年は雪が何度も降り、雪不足の心配をすることなくスキー教室を実施することができました。

「一度もこけない」ことを目指すのではなく、「何度こけてもあきらめない」を合言葉に、子どもたちは最後まで挑戦し続け、どの子も大きく上達しました。



また、校庭でも多くの子どもたちが雪遊びを楽しみました。大きな雪だるまを作ったり、そり遊びをしたりと、この季節ならではの遊びを存分に満喫する姿が見られました。



3月行事予定

3日(火)	6年生を送る会 学校運営協議会
4日(水)	フッ化物洗口 同窓会入会式 6年生によるたてわり読み聞かせ
5日(木)	訪問貸出(図書返却日、回収のみ)
10日(火)	6年生謝恩会 1~5年14:45下校 6年15:35下校
11日(水)	フッ化物洗口 JRC活動 放課後図書活動(1~3年)
12日(木)	たてわり大掃除 13:20~13:40 分団集会
18日(水)	卒業式前日準備(4,5年)特別日課 1~3年,6年 13:00下校 4,5年14:45下校
19日(木)	卒業式 1~5年11:20下校 6年生保護者と下校
23日(月)	給食終了 1~5年 14:45下校
24日(火)	修了式 学級大掃除 1~5年11:20下校

新入生体験入学

~ようこそ、本庄小学校へ!!~

次年度に入学する6名の児童が、本庄小学校に来てくれました。

はじめに学校内をまわり、特別教室などの説明を5年生がしながら案内しました。5年生が優しく接する姿に、次年度6年生としての頼もしさが感じられました。

その後は、1年生が「学校ではこんな学習をするよ」と、自分たちの学習について紹介しました。

少しお兄さん・お姉さんになった気分で、最後には「4月に学校に来るのを楽しみにしているよ」と笑顔でお見送りもしました。



あたたかな出会いから学ぶ国際理解

特別養護老人ホーム「ふじの里」で働いておられるインドネシア出身の方に来ていただき、インドネシアの文化や、現在取り組んでおられる介護のお仕事について、6年生が学びました。

日本に来てまだ5か月とのことでしたが、流ちょうな日本語で丁寧にお話くださり、「おじいさんやおばあさんが好き」で看護学校を卒業し、介護の仕事に就かれたことなど、その温かいお人柄が伝わる内容でした。

その後、6年生が学校を案内しました。優しく、それぞれの教室の説明をする姿にとっても喜んでおられました。また、小学校に特別教室があることにも驚かされていました。

文化について学ぶだけでなく、実際に交流し、その人柄に触れられたことで、子どもたちにとって真の国際交流となりました。

